

～ロコモ、フレイルにならないために～

骨粗鬆症検査、頸椎・腰椎MRI検査

こんな方におすすめです

- 50歳以上、特に女性
- 屋外で体を動かしたりスポーツをする習慣がない
- 首・肩・上肢に痛みやしびれがある(頸椎)
- 腰背部(腰椎)・臀部(おしり)・下肢に痛みやしびれがある



骨粗鬆症とは

- 何かしらの原因によって骨強度(骨密度と骨質が合わさったもの)が低下し、次第に骨がもろくなっていくことで骨折しやすくなる疾患を骨粗鬆症と言います。閉経後の女性や高齢者の方に特に多く見られますが、生活習慣の変化に伴い近年は若年の方も増えています。

頸椎症・腰椎症とは

- 頸椎症と腰椎症は、どちらも加齢やその他の要因によって背骨の椎間板や骨に変化が生じ、痛みやしびれなどの症状を引き起こす疾患です。頸椎症は首の痛み、肩こり、腕や手指のしびれや痛み、筋力低下、歩行障害などを起こすことがあります。腰椎症は腰痛、臀部や下肢の痛みやしびれ、歩行障害などを起こすことがあります。椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症に移行する場合があります。

ロコモティブシンドローム(ロコモ)、フレイルとは

- 骨粗鬆症や脊椎疾患などによる運動器の障害のために立ったり歩いたりするための身体能力(移動機能)が低下した状態を「ロコモティブシンドローム(ロコモ、または運動器症候群)」と言います。ロコモが進行すると、心身の活力(筋力、活動量、気力など)が低下し(フレイル)、将来介護が必要になるリスクが高くなります。

介護が必要となった主な原因

第1位	第2位	第3位
認知症	脳血管疾患(脳卒中)	骨折・転倒
16.6%	16.1%	13.9%

2022(令和4)年 国民生活基礎調査の概況より

コード	検査項目	受診可能な施設			価格(税込)	所要時間
		春日	深川	品川		
PL 03	骨粗鬆症検査(超音波骨密度測定) かかとに超音波を当て骨密度を測定します	●	●	●	4,400円	約5分
PL 01	頸椎MRI 首の神経や骨と椎間板の状態がわかります	●			19,800円	約15分
PL 02	腰椎MRI 腰の神経や骨と椎間板の状態がわかります	●			19,800円	約15分

※ 時間の表記は検査そのものにかかる時間で、前後の移動や準備、採血等の時間は含まれません。